

# 地域密着型金融の推進に関する方針

平成19年11月  
ほくほくフィナンシャルグループ  
株式会社 北海道銀行

# 地域密着型金融の推進における基本的な方針

## (1) 基本方針

『ほくほくフィナンシャルグループ』は、地域密着型金融の本質である「地域と共に生きる」という高い志のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、皆さまと共に歩み、成長・発展することを目指します。

## (2) 経営健全化計画における地域密着型金融への取組み

### 5. 資金の貸付その他信用供与の円滑化のための方策 (抜粋)

- 両行（北陸銀行・北海道銀行）の有する金融機能を通じて地域開発の促進に参画し、地場産業・地場関連企業の育成・深耕と**地域の皆さまとの密着化を図ることを基本方針**として、地域の皆さまの豊かな生活づくりへの貢献に努力いたしております。
- 地元の個人、中堅・中小企業の健全な資金ニーズに積極的に対応し、地元の皆さまのお役に立つ地域の銀行として、今後も地元を重視した資金供給に取り組んでまいります。

当Gの中期経営計画に該当する本計画でも地域密着を基本方針としています。



広域地域金融グループとしてのビジネスモデルの展開には、地域密着型金融の本質を踏まえた継続的な推進が不可欠であり、経営健全化計画の達成をはかるためにも重要な取組みと位置づけております。

## 地域密着型金融の具体的取組みの重点事項と目標

### (1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

項目	具体的な取組み
創業、新事業支援	ベンチャー向けファンド(どさんこファンド)を活用した創業、新規事業者への投資 ・北大 R & Bパーク協議会をはじめとした産学官との連携等を通じた技術移転等による支援
経営相談、支援機能の強化	道銀 経営塾、ものづくり講習会等の開催など各種相談会、セミナーの開催およびコンサルティング機能の発揮による事業支援
経営改善支援	外部機関との連携によるコンサル相談会の開催など経営改善計画の策定支援、中小企業支援協議会などと協調した事業再生支援への取組み強化
事業継承支援	・プライベートバンキング機能の活用をはじめとしたコンサルティング機能を発揮した事業承継支援

#### 【具体的目標】

目標項目	19年度目標
ベンチャー向け投資実績	10件/300百万円
債務者区分ランクアップ件数	60件

## .地域密着型金融の具体的取組みの重点事項と目標

### ② 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

項目	具体的な取組み
不動産担保、個人保証に依存しない融資の推進	債権流動化プログラムの活用、道銀機械担保ローン「チャンス」等の新商品による動産、債権譲渡担保付き融資への取組み
融資審査能力の向上	融資トレーニー、融資ブラッシュアップ研修会をはじめとした行内外の研修を通じた人材の育成

#### [ 具体的目標 ]

目標項目	19年度目標
スコアリングモデルを活用した融資実績	700件/5,500百万円
債権流動化、動産、債権譲渡担保付き融資実績	5,000百万円
研修受講者数 (融資審査関連)	370人

## .地域密着型金融の具体的取組みの重点事項と目標

### ③ 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

項目	具体的な取組み
ネットワーク機能を活用した情報提供	・グループの北陸銀行、あるいはシステム共同化を行う横浜銀行など広域連携によるビジネスマッチングへの取組み強化 ・グループの海外ネットワーク(中国、シンガポール、米国)を活用した情報提供 ・北海道ビジネスフォーラム、北海道「食」の特別商談会等の商談会等の開催
外部との連携による地域経済への貢献	・道銀アグリパートナーズ等の活用、PFI、ものづくり支援等の地域振興施策への積極的参加
金融教育の拡充	道内大学等への講師派遣、小学生向け企画への参加(こどものまちミニさっぽろ等)などを通じた地域を担う若い世代への金融知識の普及

#### [ 具体的目標 ]

目標項目	19年度目標
ビジネスマッチング取組み件数	800件

## .今後の情報開示

---

- 当行では、ディスクロジャー誌、ミニディスクロジャー誌、ホームページを中心に、従来より地域貢献に関する情報開示を積極的に行ってまいりました。
- 今回定める「地域密着型金融の推進に関する方針」についても、同様に各種媒体を通じて情報開示を行います。
- なお、本方針に基づく取組み状況については、決算発表時（5月、11月）に開示いたします。

### 公表媒体

- ✓ ディスクロジャー誌
- ✓ ミニディスクロジャー誌
- ✓ ホームページ 等

### 開示時期

決算発表時（5月、11月）